

## 県大短期大学部とNPO法人



# 療養児の痛み 「遊び」でケア

## 専門家養成講座が開講

県立大短期大学部とNPO法人ホスピタル・プレイ協会（静岡市）は25日、病气やけがで療養する子供たちの痛みを「遊び」で緩和するHPS（ホスピタル・プレイ・スペシャリスト）養成講座の開講式を同市駿河区の同短大部で行った。本年度新たに開設した週末だけの講座で、県内外の8人が出席した。

HPSの研修に臨む受講者ら。25日午前、静岡市駿河区の県立大短期大学部

受講者は静岡、愛知、東京、京都などの都府県で看護師や保育士、大学教員を務める女性。鬼頭宏学長は「しっかりと知識を身に付け、既に活動している人たちの中に加わってほしい」と呼び掛けた。式終了後には早速、講義が行われ、自国でHPS養成に携わる米国人講師らが「遊び」の持つ力について説明した。

県内唯一の参加者の伊藤恵美同短大助教は「受講を通じてHPSというケアの視点を学生に伝えることができれば」と話した。

受講者は来年6月までに98時間の講義と1

20時間の実習を受け、口頭試問に合格すれば資格を取得できる。

同短大は2007年度から全国で唯一、HPSの養成講座を開いていて、14年度までに129人が取得した。